

2018

2/1

February
No.296

市報 やまぐち

表紙

特集

進む、企業誘致……………2
平成28年度決算報告……………8
「初めての雪あそび」……………12



進む、企業誘致

建設が進む山口テクノパークにある
小野薬品工業(株)の工場

誘致企業からの税収は
昨年度12億4千万円

本市は、市内4力所の産業団地を

企業誘致は、雇用の創出や税収等、人口の定住や地域経済の活性化に大きな効果をもたらすと言われています。本市は、1969年以降、製造業等を中心に、実に100社を超える企業を誘致してきました。とりわけ、2015年度から現在(2018年1月1日時点)までの間に、20社の誘致(設備増設含む)が実現し、延べ541億円の設備投資と、1146人の新規雇用が予定されています。

PART1 本市の企業誘致の現状

企業誘致の経済効果と産業団地

11社と455人——これは、2016年度の1年間だけで、本市に進出や増設を決めた企業数と、新たに計画している雇用予定人数です。近年、本市の企業誘致が、かつてないほどの成果を上げています。

過去3年間に協定を締結した誘致企業の 設備投資予定額と新規雇用計画数 (2018年1月1日現在)

●設備投資予定額



●新規雇用計画数



■ 2015年度 ■ 2016年度 ■ 2017年度

中心に企業誘致を行ってきました。いずれも南部地域にあり、現在76社の企業が立地しています。佐山にある山口テクノパークは、面積208.7万㎡を誇る、県下最大規模の産業団地で、ここだけで1500人以上の方が就業しています。自動車関連産業を中心に企業が進出してきましたが、最近では大型の医療関連産業の進出が相次いでいます。山口テクノ第2団地は山口テクノパークに隣接し、製造業のほか、道路貨物運送業や各種卸売業などの物流系の企業の進出が進み、2014年度に全区画が完売しました。ユニ

市内 4 力所の産業団地と 2015 年度以降の進出企業

山口テクノパーク



小野薬品工業(株)、(株)ヒロタニ、山口スターライト工業(株)、(株)エヌエフ回路設計ブロック

山口テクノ第 2 団地



新たな産業団地の予定地



鑄銭司団地



角一化成(株)
(株)フレッシュ青果
(有)元気ジャパン

山口物流産業団地



日本郵便(株)
日本郵便輸送(株)
シースター(株)

※「株式会社」はすべて「(株)」と表記しています。

クロで有名な(株)ファーストリテイリングの本社は、この団地内に立地しています。

鑄銭司団地は、高速道路のインターチェンジや国道に隣接しているため、物流系の企業が多く進出しています。この団地も 2016 年度に全区画が完了しました。

山口物流産業団地は、深溝と佐山にまたがっており、昨年度 2 万 7 千㎡の区画に、日本郵便(株)が、県内の郵便物の区分拠点となる大型郵便局を開設しました。

なお、本市の誘致企業全体の税収は、固定資産税等と、法人市民税を合わせた金額が、12 億 4 千万円

鑄銭司地域に 新たな産業団地を整備

(2016 年度) となっており、10 年前(2006 年度)の 8 億 8 千万円に比べ、約 40% 増加しています。

4 力所の産業団地のうち、既に 3 団地が売却しており、残る山口テクノパークも分譲地は 1 区画しか残っていません。

こうした状況を踏まえ、鑄銭司地域に新たな産業団地を整備することを決定しました。分譲面積は約 10 万㎡、2022 年度から分譲開始を予定しています。

動画をご覧ください

企業誘致については、ケーブルテレビ「このまちに愛たい」で 2 月 1 日～15 日に放送するほか、YouTube「やまぐちゃんねる」でもご覧いただけます。



■問い合わせ

産業立地推進室 ☎ 083-934-2813
山口市産業立地ガイド
<http://www.oidemase-yamaguchi.com/>



やまぐちゃんねる



自動車用プラスチック部材の製造 山口スターライト工業(株)

操業開始は2017年12月。現在従業員は82人。親会社のスターライト工業(株)は大阪市。

所在地 山口テクノパークE、F区画
電話 083-902-0910

主力製品は、フロントガラスとボンネットの間をつなぐプラスチック樹脂性の「カウルグリル」。万が一の事故の際、衝撃を吸収し、歩行者を守るようにキメの細かい設計がなされています。マツダの防府工場で生産される全ての自動車に、この製品が採用されているとのこと。今後は、北部九州も見据えながら、規模の拡大を検討しておられます。

PART2 魅力的な本市の立地環境

進む、進める産業集積

本市は、温暖な気候で過ごしやすく、自然災害リスクが比較的少ない地域です。また、県央部に位置し、交通アクセスにも恵まれています。こうした特長を生かしながら、成長が見込める分野として集積を目指している、自動車関連産業、情報関連産業の企業を紹介します。



自動車用防音部品の製造 (株)ヒロタニ 山口工場

操業開始は2018年1月。従業員は21人。本社は東広島市。

所在地 山口テクノパークM区画
電話 083-988-0900

布やグラスファイバー等を混合した繊維を使い、トランクルームをはじめとする吸音・防音効果のある大型の自動車部品を製造。次世代の工場をコンセプトに、製造現場、事務所、会議室等を働きやすい空間に整備されています。12月の本格稼働をめどに50人体制を予定。小学生の社会見学の受け入れなど、地域に根ざした企業活動を考えておられます。

本市は、交通の要衝であるため、物流系の企業等の第3次産業の割合が高い産業構造となっています。

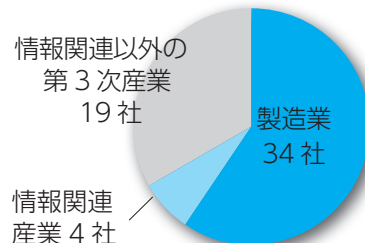
一方で、住宅メーカーである積水ハウス(株)の西日本の製造拠点や、自動車メーカーであるマツダ(株)の工場に近いことから、住宅や自動車関連を中心とした製造業も多く立地するなど、ものが進んでいます。

自動車関連産業が集積している

マツダの防府工場をはじめ、北部九州地域にある、トヨタ、日産、ダ

合併以降の産業別企業誘致件数

(2018年1月1日現在)



イハツの工場など、日本有数の自動車産業集積地の近くに本市は位置しています。1台の自動車は、約2万点以上の部品から作られており、製造に多くの企業関わっていることが知られています。

本市が誘致した製造業のうち自動車関連の企業は、現在17社(1324人)。車体、シートベルト、エアバッグ、エアコンなどをさまざまな部品が造られており、製造現場では、女性も多く活躍しています。

情報関連産業を集積させる

コールセンターやソフトウェア開発等のいわゆる情報関連産業は、インターネットをはじめとした情報技術の進歩により、地方都市でも、事業活動が可能な産業です。むしろ、大都市と比べ、設備投資や人件費を抑えることができるという、企業側のメリットがあります。

こうした理由から、本市は情報関連産業の優遇制度を2008年度に創設。これまでに4社(340人)を誘致しています。来年度はこの優遇制度の更なる拡充を行い、積極的に誘致活動を行います。



**コールセンター業務
コープCSネット(株)
組合員サービスセンター**

本社は広島市。操業開始は2011年4月。従業員は190人。

所在地 朝田 601-39
電話 083-963-4253



生活協同組合の会員を対象とし、注文や宅配の問い合わせを電話で受ける、コールセンター業務を行っています。中国地方にある5つの生協全てのコールセンター機能が、ここに集約されており、勤務する従業員のほぼ全員が女性です。また、業務時間が8時30分～23時であるため、働く人にあった柔軟な勤務形態を用意されています。今後は、システムリプレイス（パソコン入れ替え・システム改修等）を計画するなど、働きやすいコールセンターを目指しておられます。

平均年齢20代後半の若い方が多い職場。企業秘密でお伝えできませんが、名前を聞くと、誰もが利用したことがある、日本を代表する企業や、世界的企業のウェブサイト運営を主業務として手がけています。山口へ立地を決めたのも、芸術系の大学や専門学校が近隣にあったのが大きな要因のひとつ。「そこで育った人材が就業できる場として、地域に貢献していきたい」と山本敏業務部マネージャー。現在は、本市や専門学校と連携して、講座や授業を行うことで、IT関連を中心とした、クリエイティブ人材の育成も行っておられます。

**ウェブサイト運営など BPO 業務※
トゥルージオ(株)
西日本山口センター**

本社は東京都。操業開始は2017年2月。従業員は30人。

所在地 小郡黄金町 7-4
山本ビル第一 3F
電話 083-976-0803

※ BPO…ビジネス・プロセス・アウトソーシング。企業運営上の業務等を専門企業に外部委託すること。

担当者の声

本市の企業誘致は、東京と大阪に営業本部を構える山口県等と連携して進めており、信用調査会社を通じて、全国の企業の設備投資動向を収集するなど、本市に進出する可能性のある企業に対して訪問活動を行っています。

また、定期的に立地企業を訪問してニーズを伺うなど、アフターフォローにも力を入れています。こうした取り組みにより、実際に立地企業と取引のある別の企業の誘致につながった事例もあります。

近年、経済情勢の好転を背景に本市への企業進出が相次いでいますが、その一方で、多くの企業から人手不足という声が聞かれます。大学の就職支援担当者によると、県内の大学生および短期大学生の約7割が県外就職をしているそうです。企業誘致の取り組みはもちろんですが、企業や学校、就職支援機関などとも連携を図りながら、本市の魅力的な企業を市民の皆さんに知っていただく取り組みも進め、学生等の地元就職の促進にもつながっていききたいと思っています。



**産業立地推進室
主任主事 佐藤 晃**



カテーテル手術のトレーニング（イメージ）

PART3 医療関連産業の集積と本市の人材

テルモ山口の坂口社長に インタビューしてきました

私たちの身近にあって、必要不可欠なもの——医療。2012年にテルモ(株)が、2016年に小野薬品工業(株)がいずれも山口テクノパーク(佐山)へ大規模な工場進出を決定しました。高度な技術を要する医療関連産業の相次ぐ進出で、本市の産業構造も新たなステージを迎えています。

とでしたが、ここまで非常に順調に工場の立ち上げが進んでいます。やはり「人材」でしょうね。

「人材」というのは企業にとって一番大事なところで、山口は本当にそこが恵まれているんです。

テルモ山口は地元採用を主としているため、社員の90%以上が山口県の出身者です。山口は、大学や高専、工業高校などが多く、優秀な人材を確保しやすい環境ですね。また、地元山口にとっても愛着を持った方が多い印象です。実際採用してみても、期待した以上の人材が集まりました。ゼロからのスタートでしたが、高い技術や品質管理が求められる生産現場にあって、非常に短期間で目標としていた品質、生産性を達成できたことには驚きました。

テルモ山口(株)
代表取締役社長
坂口 至 氏

「人材」は
企業にとって一番大事
山口は本当にそこが恵まれている

——テルモ山口の事業内容について教えてください

国内はもとより、世界中で医療機器の高いシェアをもつテルモ(株)が進出して5年。本市の医療関連産業の集積を牽引する、テルモ山口(株)の坂口社長に、医療関連産業の現状や、今後の展望などについてお聞きしてきました。

テルモ山口(テルモ山口(株)とテルモ山口D&D(株))は、テルモ(株)の子会社として設立しました。2016年1月から操業を開始し、「ガイドワ

——山口市に進出して5年が経ちましたがいかがですか

「プレフィルドシリンジ」と呼ばれる医薬品が入っている注射器等を製造しています。特に「ガイドワイヤー」の製造は、非常に高度な技術力が求められるため、世界でも最先端の製品が、ここ山口で生産されていると言えます。

山口に進出してきた理由は、BCP^{*}の観点から、災害が少なく、交通や環境インフラなどが優れているこ

——医療関連産業の現状について教えてください

日本をはじめ、先進諸国では高齢化が進み、医療費の増大が課題となっています。今、医療の世界で求められていることは、患者さんの負担を少なくすること、そして、医療の安全性、経済性に貢献することだと考えます。テルモ山口で製造している「ガイドワイヤー」を使ったカテーテル手術は、外科手術に比べ、患者さんの負担の軽減につながっています。また、同じくテルモ山口で生産して

いる「プレフィルドシリンジ」は、従来の注射剤に比べてより安全で、簡便、確実にできるため、医療の安全性、経済性に貢献しています。これからは、医療現場と患者さんの双方が求めている製品・サービスを提供する必要がありますと感じています。

^{*} BCP (Business Continuity Plan) …災害などリスクが発生したときに、業務が中断しないように、事業活動を計画すること。

医療機器の製造

テルモ山口(株)、テルモ山口D&D(株)

操業開始は2016年1月。従業員は392人。親会社のテルモ(株)の本社は東京。生産拠点は国内外合わせ30カ所におよぶ。

所在地 山口テクノパークV-2、W、X区画



1

2

3

1 2021年4月稼働予定の新棟(完成予想図) 写真左・屋上のテルモロゴの建物。新棟建設と生産設備導入に関する投資金額は約300億円。2030年度までに700人を新たに採用予定。**2 ガイドワイヤー** 脚や手首の血管から患部までカテーテルと呼ばれる医療機器を進めて行う手術に欠かせないもの。全世界で約6割のトップシェアを誇る。**3 プレフィルドシリンジ** 薬剤があらかじめ充填された注射器。薬剤取り違いなどの医療事故を防止する。

——地元企業との連携も考えられますか

医療関連産業の集積という県の戦略に積極的に参画しています。医療関連産業への参入は、ハードルが高いと思われるがちです。確かに高い部分もありますが、そうでない部分もあり、そういった部分を地元企業の皆さんへ正しく理解していただくと、連携の糸口が見つければと考えます。山口県は、もともと工業が盛んな場所ですので、調達ができないものはないと思います。近隣でパートナー企業を増やし、一緒に発展していきたいですね。

特に、同じ山口テクノパークに進出されている協和医療開発さんや、小野薬品工業さんは、テルモグループとしては以前より交流のある製薬企業様です。今後も、この山口という地の利を生かして連携を深め、新しい山口発の製品を開発していければと思います。

——市民の健康づくりについて教えてください

進出したことが縁で、2014年から、私たちの会社の製品である「活動量計」を使った健康づくりをお手伝いさせていただいています。現在、市内9地域で、活動量に着目した健康づくりに取り組まれていると聞いていますが、

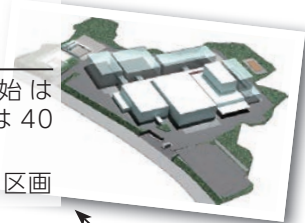
山口テクノパーク内の医療関連企業

医療用医薬品の製造

小野薬品工業(株) 山口工場

本社は大阪市。操業開始は2020年3月を、従業員は40人を予定。

所在地 山口テクノパークT区画



がん治療薬「オプジーボ」などの注射剤を生産する工場を建設中(上図)。オプジーボは、既存の抗がん剤とは全く違う作用機序(メカニズム)を持つ新しい薬剤として、近年注目を浴びています。

医療用医薬品の製造

協和医療開発(株)

1992年に操業開始。現在の従業員は42人。協和発酵キリングループ。

所在地 山口テクノパークZ区画

電話 083-989-5911



医療機関で処方される医薬品(経口剤、坐剤など)を、親会社である協和発酵キリン(株)から受託し製造しています。

——今後の展望をお聞かせください

テルモ(株)の創業者でもある北里三郎博士の言葉「医者使命は病気を予防することにある」にもつながっていますので、今後も市民の皆さんの健康面でのお手伝いができたらと思っています。

昨年12月に新たにカテーテル関連製品を生産する新棟を増設することを決めました。山口市で3度目となる設備投資です。テルモ山口はこれまで、操業間もないこともあり、中間製品の生産を担う工場としていましたが、山口のスタッフが優秀なおかげで、当初の想定以上に早期に安定生産が可能となりました。今後は

中間製品だけでなく、最終製品まで対応するカテーテル製品の基幹工場と位置づけ、拡大していく予定です。雇用に関しては、今後、長期的なスパンで新たに700人程度の採用を予定しています。現在も定期的に新卒採用や中途採用など、理系学部・文系学部を問わず、さまざまな職種の募集を行っています。学校や行政と連携しながら、地元採用を積極的に進めていきたいと考えています。

ここ山口にありながら、グローバルに展開している企業があることを地元の方に感じていただけるように、また、市民の皆さんに愛され、信頼される企業として発展できるように、今後もよりしくお願い申し上げます。

平成28年度

決算報告

平成28年度の決算が、平成29年第3回市議会定例会で認定されました。そこで、平成28年度の歳入歳出の実績について、市民1人あたりに置き換えてお知らせします。

※市民1人あたりの換算額は、平成29年3月31日現在の人口19万2,692人を基に算出

一般会計

一般会計とは、市税などを主な財源に、道路・公園の建設や福祉、医療、教育など、まちづくりに関する事業を行うための中心的な会計です。

〔歳入4.5%減、歳出4.5%減、

実質黒字約7億5,363万円〕

平成28年度の決算額は、平成28年度当初予算額824億円に対し、歳入が787億6,017万円、歳出が775億9,766万円となりました（対前年度伸び率は、歳入4.5%の減、歳出4.5%の減）。歳入から歳出を差し引いた11億6,251万円から、平成29年度へ繰り越した4億8,888万円を差し引いた7億5,363万円が、実質的な黒字になりました。

歳入

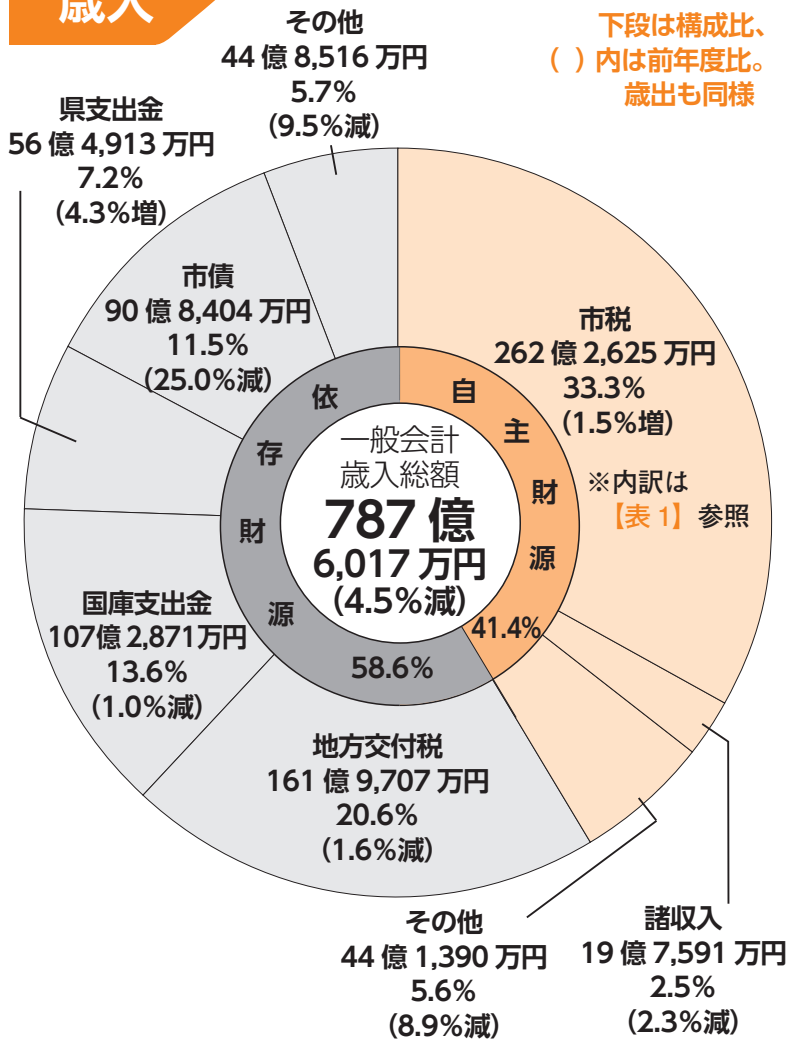
〔市税3億8千万円増、

市債30億3千万円減〕

市税は、法人市民税や固定資産税の増などにより、前年度に比べ約3億8千万円増の262億2,625万円になりました。

地方交付税は、合併算定替の逓減などにより、約2億6千万円減の161億9,707万円に、国庫支出金は、社会資本整備総合交付金の減などにより、約1億1千万円の減となる107億2,871万円になりました。

歳入



〔表1〕市税の内訳

税 目	平成28年度 決算額	市民1人当たり 金額	構成比 (%)	前年度比 (%)
個人市民税	97億2,578万円	5万473円	37.1	0.7
法人市民税	25億8,116万円	1万3,396円	9.8	3.3
固定資産税	106億4,122万円	5万5,224円	40.6	1.8
軽自動車税	5億1,043万円	2,649円	2.0	14.5
たばこ税	12億2,975万円	6,382円	4.7	△2.9
鋳産税	0万円	0円	0.0	0
入湯税	8,502万円	441円	0.3	0.4
都市計画税	14億5,289万円	7,540円	5.5	1.1
合 計	262億2,625万円	13万6,105円	100.0	1.5

市民1人あたりに換算すると
40万8,736円

市が自ら調達できる収入
(自主財源)

16万9,265円

市税 **13万6,105円**

諸収入
預金利子や市が融資した
貸付金の返済金など
1万254円

その他 (分担金、負担金、
使用料、手数料、財産収入、
寄附金、繰入金、繰越金)
2万2,906円

国や県を経由する収入
(依存財源)

23万9,471円

地方交付税
市町村間の財源の均衡を図
るため、国が交付するお金
8万4,057円

国庫支出金 一定の事業に
ついて、国が負担するお金
5万5,678円

県支出金 一定の事業につ
いて、県が負担するお金
2万9,317円

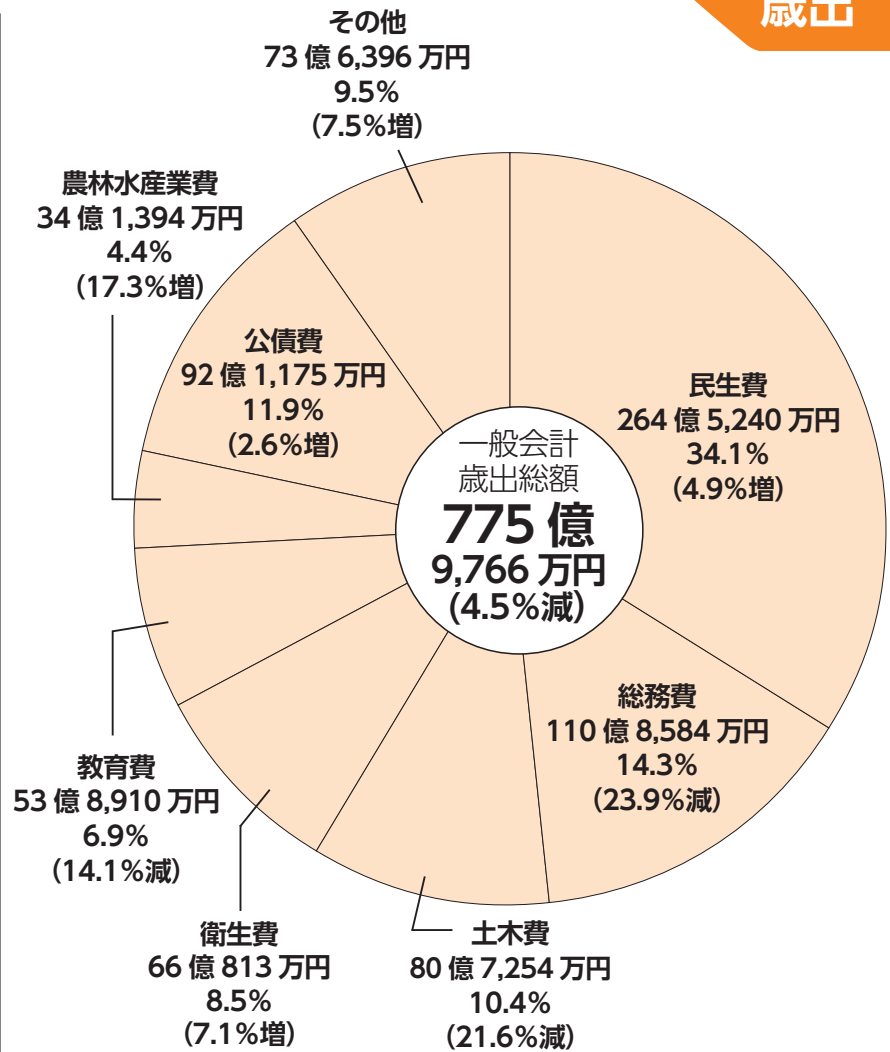
市債 市の借金
4万7,143円

その他 (地方譲与税、交付
金等)
2万3,276円

歳出

市民 1 人当りに使われるお金は
40 万 2,703 円

【内訳】



【表 2】市債の状況

区 分	平成 28 年度末 現在高	市民 1 人当たり 現在高
一 般 会 計	1,006 億 7,793 万円	52 万 2,481 円
特 別 会 計	48 億 100 万円	2 万 4,915 円
合 計	1,054 億 7,893 万円	54 万 7,396 円
年 度 末 現 在 高 に 対 す る 利 息	59 億 5,260 万円	3 万 892 円

※利息については、利率見直し等により変動します。

歳出

【総務費34億7千万円減】

民生費は、臨時福祉給付金制度の新設などにより、前年度と比べ約12億3千万円増の264億5,240万円になりました。

総務費は、地域交流センター建設事業費の減などにより、前年度と比べ約34億7千万円減の110億8,584万円になりました。土木費は、新山口駅ターミナルパーク整備事業費の減などにより、前年度と比べ約22億2千万円減の80億7,254万円になりました。

公債費は、長期債元利償還金の増により、決算額は前年度と比べ約2億3千万円増の92億1,175万円になりました。

その他は、ふるさと納税寄附者増によるふるさと産品営業推進事業費の増などにより、前年度と比べ約5億2千万円増の73億6,396万円になりました。

平成28年度市税の決算内訳は「表1」の通りです。

平成28年度末の市債（借金）の状況は「表2」の通りです。

また、市債は新山口駅ターミナルパーク整備事業費の減などにより、約30億3千万円減となる90億8,404万円になりました。

基金の残高

区 分	平成 28 年度末 残高	市民 1 人当たり 現在高
財 政 調 整 基 金	51 億 9,311 万円	2 万 6,950 円
減 債 基 金	63 億 6,693 万円	3 万 3,042 円
その他特定目的 基 金	150 億 6,339 万円	7 万 8,174 円
合 計	266 億 2,343 万円	13 万 8,166 円

財政調整基金

経済事情の変動等で財源が不足する場合に、
年度間の財源の不均衡を調整するための基金

減債基金

地方債の償還を計画的に行うための基金

その他特定目的基金

大規模施設の整備などのための
基金



【表 3】平成 28 年度特別会計歳入歳出決算概要

区 分	歳入決算額	前年度比	歳出決算額	前年度比	1 人当たり 歳出金額
国 民 健 康 保 険	231億5,848万円	△3.0%	226億554 万円	△3.0%	11 万 7,314 円
後期高齢者医療	28億201万円	6.4%	27億9,067 万円	6.5%	1 万 4,483 円
介 護 保 険	167 億6,493 万円	4.9%	162億2,192 万円	4.7%	8 万 4,186 円
介護サービス事業	6,112 万円	△1.3%	5,657 万円	6.6%	294 円
駐 車 場 事 業	6,276 万円	5.1%	4,116 万円	17.7%	214 円
簡 易 水 道 事 業	6 億7,411 万円	△16.8%	6億7,099 万円	△16.7%	3,482 円
農業集落排水事業	5 億1,145 万円	△5.0%	5億1,145 万円	△5.0%	2,654 円
漁業集落排水事業	1,743 万円	12.9%	1,743 万円	12.9%	90 円
地域下水道事業	561 万円	5.3%	497 万円	△0.8%	26 円
国 民 宿 舎	2,986 万円	△28.8%	2,986 万円	△28.8%	155 円
特 別 林 野	1,576 万円	△39.7%	1,314 万円	△23.3%	68 円
合 計	441 億352 万円	△1.6%	429 億6,370 万円	△1.7%	22 万 2,966 円

特別会計は、特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要があるときに設けることができる会計です。原則、独立採算で運営します。
平成28年度特別会計の歳入歳出決算は、次の【表3】の通りです。

特別会計



今後の見通しと取り組み

将来の財源不足に備えて、行財政改革を推進

現状では、財源不足を補うための基金の取り崩しは行っていないませんが、地方交付税に係る合併による国からの財政支援措置が年々減少する一方、少子高齢化の進展による、扶助費等の増加が見込まれ、今後は厳しい財政運営となる見通しとなっています。

本市では、このような財政状況を踏まえ、「財政運営健全化計画」を策定し、改めて歳入・歳出の両面から行財政改革により、持続可能で自立した財政基盤の確立を目指した取り組みを進めていきます。

※「山口市の台所事情」や「財政運営健全化計画」など、詳しくはウェブサイトに掲載しています。

山口市 財政

検索

市の財政ってどうなってるの？

山口市の台所事情 ～家計の 1 カ月分に例えると～

平成 28 年度決算を分かりやすくするために、山口家（サラリーマンのお父さん、パート勤めのお母さん、2 人の子ども）の家計に置き換えて考えてみましょう。

1 カ月分の金額は、28 年度普通会計（※）の決算額の 1 万分の 1 を 12 で割って算出し、千円単位で四捨五入。（）内は 28 年度決算額

※普通会計とは、地方公共団体間の財政比較のため、地方財政統計上で統一的に用いられている会計区分です。本市の普通会計には、一般会計、地域下水道事業特別会計、特別林野特別会計が含まれます。



収 入		支 出	
給料	21 万 9,000 円 ① (市税 262 億 2,625 万円)	食費・税金・社会保険料	10 万 9,000 円 a (人件費 130 億 7,904 万円)
家賃収入	3 万 2,000 円 ② (使用料・手数料等 38 億 1,510 万円)	医療費・養育費	13 万 2,000 円 b (扶助費 158 億 1,189 万円)
パート収入	5 万円 ③ (地方譲与税、交付金等 60 億 2,044 万円)	光熱水費・電話代等	8 万 8,000 円 c (物件費 105 億 5,243 万円)
親などからの協力・援助	29 万 6,000 円 ④ (地方交付税、臨時財政対策債、国・県支出金等 355 億 2,295 万円)	子どもへの仕送り	6 万円 d (繰出金 72 億 898 万円)
貯金の利子	7,000 円 (財産収入 8 億 4,231 万円)	町内会費、サークルや会合の会費	6 万円 e (補助費等 72 億 5,178 万円)
自宅増改築等のための借入れ	5 万 3,000 円 (市債〈臨時財政対策債を除く〉63 億 2,680 万円)	ローンの返済	7 万 7,000 円 f (公債費 92 億 1,175 万円)
貯金の取り崩し	0 円 (基金繰入金 1,277 万円)	自宅・借家の増改築、家電購入等	11 万 2,000 円 (普通建設事業費、維持補修費等 133 億 7,162 万円)
		貯金	9,000 円 (積立金 11 億 1,337 万円)
収入合計 65 万 7,000 円 (合計 787 億 6,662 万円)		支出合計 64 万 7,000 円 (合計 776 億 86 万円)	

家計に例えると…

給料などに加えて、親からの協力・援助を活用して家計を賄っています。

支出を見ると、食費、医療費・養育費、光熱水費といった生活費が 32 万 9,000 円（a + b + c）、子どもへの仕送りが 6 万円（d）、町内会費やサークル等の会費が 6 万円（e）、ローンの返済が 7 万 7,000 円（f）あり、これらを合わせて毎月必要な支出は 52 万 6,000 円になっています。

一方、収入を見ると、給料や家賃収入を合わせて 25 万 1,000 円（① + ②）ありますが、これだけ

では毎月の支出金額を賄うことができません。このため、毎月のパート収入 5 万円（③）や親からの協力・援助 29 万 6,000 円（④）を活用してやりくりをしています。なお、毎月の残金と借入金等により、自宅や借家の増改築、家電購入等を行っています。



市政トピックス



ウェブサイトでも公開中

教育長・監査委員が 就任しました

12月15日、「平成29年第4回市議会定例会」において、教育長及び教育委員を任命する議案、監査委員を選任する議案がそれぞれ同意されました。（ ）内は就任日

教育長

藤本孝治氏（平成29年12月23日）

教育委員

横山洋之氏（平成29年12月23日）

代表監査委員

徳永雅典氏（平成30年1月1日）

監査委員

石高雅美氏（平成30年1月1日）



徳永代表監査委員



藤本教育長

職員課

☎083・934・2727

平成29年第4回市議会 定例会を開催しました

11月27日から12月15日まで、「平成29年第4回市議会定例会」を開催しました。

市長から、施政方針についての説明のほか、第二次山口市総合計画の策定状況や山口市新本庁舎整備基本方針（案）、新山口駅北地区拠点施設整備事業についてなど、市政の概況について報告がありました。

また、平成29年度山口市一般会計補正予算のほか、新山口駅北口交通広場設置及び管理条例、新山口駅観光交流センター設置及び管理条例、指定管理者の指定についてなど計35の議案を提出し、すべて可決・同意されました。また、次世代を担う子どもたちが健やかに育つことのできる地域社会を目指して、山口市子ども・子育て条例が議員提案され、可決されました。

市議会事務局

☎083・934・2854

テルモ株式会社が 工場増設を決定しました

12月13日、医療機器製造メーカー

のテルモ株式会社が、子会社であるテルモ山口株式会社の工場敷地内において、カテーテル関連商品を生産する工場の増設を決定したことに伴い、協定調印式を行いました。

協定の調印に当たって、テルモ株式会社の子会社である「山口で生産を始めてわずか数年だが、想定以上に質の高い生産活動を行うことができている。こうした実績を受けてテルモ株式会社として国内2番目の基幹工場として育てていくための設備投資を決定した」と述べられました。



市長は「現在、地元中心に400人近い雇用を創出し、本市産業を力強く牽引するリーダーとして、地域経済の振興に多大なる貢献をいただいている。ここ山口の地から世界に向けて、最先端の医療機器が供給されることを大変誇らしく思っている」と述べました。

左から

市長、村岡知事、佐藤社長

産業立地推進室

☎083・934・2813

表紙説明

「初めての雪あそび」

1月12日にオープンした十種ヶ峰スキー場。

表紙の写真は、オープン翌日の13日に、大内から家族4人でスキー場を訪れた6歳の女の子と2歳の男の子です。ソリの手前に座っている男の子は、これが初めての雪遊び。「雪〜！」と嬉しそうにグレンデを見つめて、怖がることなく、お姉ちゃんにソリを引っ張ってもらっていました。大好きな弟が喜ぶ姿に世話好きなお姉ちゃんも嬉しくなり、2人とも終始笑顔が溢れていました。

十種ヶ峰スキー場は、自然の雪で運営しているため、営業は積雪状況により変動します。訪れる前にウェブサイト等で確認してください。スキーのほかにも、キャンプや登山、マウンテンバイクも体験できますよ。



スキー場の詳細はこちらから

十種ヶ峰スキー場

☎083・958・0547



やまぐち元気いきいき大賞 の表彰式を行いました

12月20日、「健康づくり講演会」において、やまぐち元気いきいき大賞の表彰式を行いました。やまぐち元気いきいき大賞は、市民の健康づくりの輪を広げるため、優れた健康づくり活動を行っている地域団体や事業所、健康長寿の方を表彰し、その取り組みを紹介するものです。

今年度は、ラジオ体操や健診、スポーツ等による健康づくり、これらの活動を通じた仲間づくりを図っておられる地域団体部門3団体、事業所部門2事業所、健康長寿部門8人が受賞されました。受賞者および活動内容はウェブサイトで紹介しています。



▲表彰式の様子

ウェブサイト▶



株式会社菜の花が 設備増設を決定しました

12月21日、株式会社菜の花が、事業所設備の増設を決定したことに伴い、協定調印式を行いました。株式会社菜の花は、平成2年に秋穂で事業を開始され、コンビニエンスストア向けのおにぎりやお弁当、お総菜等を製造されています。現在は、県内を中心に300を超えるセブンイレブンの店舗で販売されています。

株式会社菜の花の宮本久和代表取締役社長は「県下全てのセブンイレブンで主としてお米を使った商材を納品している。今回の設備増設は、



左から、市長、伊藤山口県商工労働部企業立地統括監、宮本代表取締役社長

お米を使った生産設備の能力を1.5倍に高め、今後の店舗増にも対応する生産拠点としての設備投資である。雇用面では、現在の従業員約450人から600人に増やすことを目指し、社名にもなった市の花「菜の花」のように、市民に愛される会社を目指す」と述べられました。

防府お針祭り



お豆腐に古い針を刺して祈願する。

縫い針に感謝すると共に裁縫の上達とけがのないよう祈願し、お豆腐に折れた針が供えられます。

■期日 2月12日(月・休)

■会場 防府天満宮

■内容 針供養…9時30分から、お針塚にて(※古針、折れた針を持参)／手づくりフェスタ in お針祭り…10時～15時、参集殿にて／ブラジルの花と日本の花々(中原中也記念館名誉館長 福田百合子氏によるお茶とお話の会)…10時30分から、芳松庵にて。参加費 500円

問 防府お針祭り実行委員会

☎ 0835-25-2148

ときわ公園 梅まつり



園内の湖水ホール近くの梅園に植えられた4品種約100本の梅が咲き誇ります。

■日時 2月25日(日)

10時～15時

■会場 ときわ公園ときわ湖水ホールほか

■内容 梅園クイズラリー…クイズに答えると、ガラポンくじに挑戦できます。先着500人／梅酒フェア…銘梅酒70種類の試飲会・即売会／フラワーアレンジメント教室(題材:梅の花)…山口県花き展示品評会講師 田中辰夫氏によるアレンジメント教室

問 ときわ公園管理課

☎ 0836-54-0551

阿知須ひなもんまつり & ぷち街角ぎやラリー



民家に飾られたひなもん。手作り体験ができる会場もある。

阿知須地域独自の民芸品である「ひなもん」をはじめとする手作りアート作品などが、阿知須のまちの商店や民家などに一斉に飾られます。さらに、ぜんざいや甘酒のお接待、着物来場サービスなどの日替わりイベントも開催されるほか、「ひなもんフォトコンテスト」や「ひなもん五・七・五コンテスト」など、来場者の皆さんが参加できるイベントもご用意しています。

■期間 2月8日(木)～12日(月・休)

■時間 9時30分～15時30分

■会場 阿知須商店街、いぐら造りの街並周辺

問 県央商工会阿知須支所

☎ 0836-65-2129

わがまちも、となりまちも、ぐるっと再発見！

健康増進課
☎ 083・921・2666

産業立地推進室
☎ 083・934・2813

2月 3月

イベントカレンダー

2/8 (木) ~ 12 (月・休)

阿知須のひなもんまつり&ぷち
街角ぎやらりー

会場 阿知須商店街周辺

☎ 実行委員会

☎ 0836-65-2129



2/25 (日) ~ 3/18 (日)

大殿ひなさんぽ

会場 大路口ビーほか

☎ 大路口ビー

☎ 083-920-9220

2/25 (日)

レノファ山口FCホーム開幕戦

会場 維新みらいふスタジアム

☎ スポーツ交流課

☎ 083-934-2875



開催中のイベント

2/4 (日) まで

やまぐち新進アーティスト大
賞ノミネート作品展

会場 C・S 赤れんが

☎ 文化交流課

☎ 083-934-2717

3/4 (日) まで

企画展「れきみんモノがたり
四季めぐる山口」

会場 歴史民俗資料館

☎ 歴史民俗資料館

☎ 083-924-7001

3/13 (火) まで

企画展「自由律俳句誌『層雲』
と山頭火」

会場 小郡文化資料館

☎ 小郡文化資料館

☎ 083-973-7071

2/11 (日・祝)

全日本実業団ハーフマラソン
大会

会場 維新百年記念公園陸上競
技場発着山口循環ハーフ
マラソンコース

☎ 山口陸上競技協会事務局

☎ 083-920-6125

2/12 (月・休)

市民クロスカントリー大会

会場 山口県セミナーパーク

☎ スポーツ交流課

☎ 083-934-2875

2/25 (日) ~ 3/4 (日)

市美術展覧会

会場 市民会館

☎ 文化交流課

☎ 083-934-2717

おとうさん、おかあさんといっしょ

山口県児童センター【吉敷】

維新公園に隣接するセンターは、本の
読み聞かせや歌を楽しむ等、親子参加
型の無料イベントをほぼ毎日開催。外
があいにくの天気でも、ここの体育室
なら思いっきり体を動かせます。一番
の目玉はプラネタリウム。土日は1日
4回上映。高校生以下は無料です。

【開館時間】 9時~16時30分

【休館日】 毎週月曜、祝日ほか

(詳細はウェブサイトに掲載)

☎ 山口県児童センター ☎ 083-923-4633



明治維新150年にあたり

暦のうえでは、冬の終わりが近
づく頃ですが、まだまだ寒さの厳
しい日が続いています。体調管理
には気を付けていただきたいと思います。

さて、今年は明治改元から
150年という節目の年です。こ
の記念すべき年に合わせ、本市で
は、大内文化ゾーン一帯を「明治
150年記念公園」とするコンセ
プトのもと、亀山公園山頂広場の
整備をはじめ、10月に
め、10月には、十朋亭
周辺に幕
末・明治維
新を学ぶ施
設をオープン
することを
としています。



また、9月14日から11月4日に
かけて、山口県から博記念公園に
おいて、山口県との共催により開
催します「山口ゆめ花博」のほか、
明治維新150年記念の関連事業
も多数、実施します。

こうした施設の整備やイベント
の実施を、これからの150年の
まちづくりを考える良いきっかけ
と捉えると同時に、施設に御来場
される方やイベントに御参加いた
だく方に、再び山口を訪れてみた
いと思っただけで迎えるよう、心通
うおもてなしをもって迎えたい
と思います。

山口市長 渡辺純心

